平成 29 年度　病院事業決算状況　　都道府県名　徳島県　　総務省

－ 目次 －

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	三好病院	3
-	海部病院	4
徳島市	徳島市民病院	5
三好市	三野病院	6
勝浦町	国保勝浦病院	7
那賀町	那賀町立上那賀病院	8
美波町	国保美波病院	9
海陽町	海南病院	10
つるぎ町	つるぎ町立半田病院	11

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	徳島県
市町村・組合名	
病院名	中央病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	41,059 ㎡	指定病院の状況	救臨が感へ災地
診療科数	25	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	390	80.6	82.3	81.7
療養	-	-	-	-
結核	5	32.6	27.0	24.6
精神	60	52.8	62.7	62.7
感染症	5	-	8.2	4.0
計	460	75.6	78.3	77.8
平均在院日数（一般病床のみ）		9.3	9.6	9.4

設立団体の状況

人口 (人)		755,733
決算規模 (千円)		459,630,411
標準財政規模 (千円)		254,140,483
財政力指数		0.33399
経常収支比率 (%)		93.1
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.8
	将来負担比率 (%)	181.8

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	90.1
修正医業収支金額 (千円)	13,271,265

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,041,142	2,088,274
資本勘定繰入	634,797	634,797
計	2,675,939	2,723,071

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	45.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,298,088			
1 経常収益	16,298,088			
(1) 医業収益	13,837,501			
① 入院収益	9,503,643			
② 外来収益	3,341,209			
診療収入計	12,844,852			
③ その他医業収益	992,649			
(うち他会計負担金)	566,236			
(2) 医業外収益	2,460,587			
(うち国・都道府県補助金)	100,442			
(うち他会計補助・負担金)	1,522,038			
(うち長期前受金戻入)	677,349			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,800,563			
2 経常費用	15,800,563			
(1) 医業費用	14,723,556			
① 職員給与費	7,206,744	52.1	55.9	55.2
② 材料費	3,754,829	27.1	24.0	25.7
(うち薬品費)	2,233,853	16.1	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,520,625	11.0	11.1	12.3
③ 減価償却費	1,255,642	9.1	9.2	8.5
④ 経費	2,424,032	17.5	23.2	19.0
(うち委託料)	1,482,992	10.7	11.2	9.1
⑤ 研究研修費	72,849			
⑥ 資産減耗費	9,460			
(2) 医業外費用	1,077,007			
(うち支払利息)	299,491	2.2	1.7	1.6
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	497,525			
損益 純損益	497,525			
累積欠損金	486,332			
経常収支比率	103.1		98.0	98.4
医業収支比率	94.0		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	12.8		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	15.1		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	12.8		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	89.9		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	39,275,657
1 固定資産	33,568,445
(1) 有形固定資産	32,163,200
(2) 無形固定資産	7,194
(3) 投資その他の資産	1,398,051
2 流動資産	5,707,212
(1) 現金及び預金	2,075,736
(2) 未収金及び未収収益	3,384,884
(3) 貸倒引当金 (△)	9,384
(4) 貯蔵品	224,481
3 繰延資産	-
負債合計	39,901,617
1 固定負債	30,559,937
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	26,485,194
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,130,000
(5) その他の長期借入金	535,000
(6) 引当金	2,347,508
(7) リース債務	62,235
2 流動負債	4,010,548
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,155,331
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	170,000
(4) その他の長期借入金	90,000
(5) 引当金	626,450
(6) リース債務	21,450
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,833,272
(9) 前受金及び前受収益	4,413
3 繰延収益	5,331,132
(1) 長期前受金	13,462,359
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	8,131,227
資本合計	-625,960
1 資本金	7,418,333
2 剰余金	-8,044,293
(1) 資本剰余金	671,283
(2) 利益剰余金	-8,715,576
負債・資本合計	39,275,657
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	625,960
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	徳島県
市町村・組合名	
病院名	三好病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ　訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	21,511 ㎡	指定病院の状況	救臨が感へ災地
診療科数	17	看護配置	７：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	206	67.8	62.8	60.9
療養	-	-	-	-
結核	8	20.6	29.6	19.7
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	220	64.3	59.9	57.7
平均在院日数（一般病床のみ）		13.8	13.4	13.1

設立団体の状況

人口 (人)		755,733
決算規模 (千円)		459,630,411
標準財政規模 (千円)		254,140,483
財政力指数		0.33399
経常収支比率 (%)		93.1
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.8
	将来負担比率 (%)	181.8

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	67.2
修正医業収支金額 (千円)	3,352,758

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	874,865	882,758
資本勘定繰入	24,124	24,124
計	898,989	906,882

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	45.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,657,613			
1 経常収益	4,657,613			
(1) 医業収益	3,717,095			
① 入院収益	2,462,021			
② 外来収益	820,039			
診療収入計	3,282,060			
③ その他医業収益	435,035			
(うち他会計負担金)	364,337			
(2) 医業外収益	940,518			
(うち国・都道府県補助金)	9,287			
(うち他会計補助・負担金)	518,421			
(うち長期前受金戻入)	375,379			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,283,276			
2 経常費用	5,283,276			
(1) 医業費用	4,988,159			
① 職員給与費	2,554,101	68.7	55.9	59.2
② 材料費	701,674	18.9	24.0	19.6
(うち薬品費)	300,244	8.1	12.4	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	400,980	10.8	11.1	9.2
③ 減価償却費	632,087	17.0	9.2	10.4
④ 経費	1,076,028	28.9	23.2	27.3
(うち委託料)	613,318	16.5	11.2	11.8
⑤ 研究研修費	22,366			
⑥ 資産減耗費	1,903			
(2) 医業外費用	295,117			
(うち支払利息)	44,409	1.2	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-625,663			
損益 純損益	-625,663			
累積欠損金	4,071,155			
経常収支比率	88.2		98.0	96.1
医業収支比率	74.5		88.4	85.2
他会計繰入金対経常収益比率	19.0		12.4	13.4
他会計繰入金対医業収益比率	23.7		14.5	16.0
他会計繰入金対総収益比率	19.0		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	71.4		85.9	83.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	39,275,657
1 固定資産	33,568,445
(1) 有形固定資産	32,163,200
(2) 無形固定資産	7,194
(3) 投資その他の資産	1,398,051
2 流動資産	5,707,212
(1) 現金及び預金	2,075,736
(2) 未収金及び未収収益	3,384,884
(3) 貸倒引当金 (△)	9,384
(4) 貯蔵品	224,481
3 繰延資産	-
負債合計	39,901,617
1 固定負債	30,559,937
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	26,485,194
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,130,000
(5) その他の長期借入金	535,000
(6) 引当金	2,347,508
(7) リース債務	62,235
2 流動負債	4,010,548
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,155,331
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	170,000
(4) その他の長期借入金	90,000
(5) 引当金	626,450
(6) リース債務	21,450
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,833,272
(9) 前受金及び前受収益	4,413
3 繰延収益	5,331,132
(1) 長期前受金	13,462,359
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	8,131,227
資本合計	-625,960
1 資本金	7,418,333
2 剰余金	-8,044,293
(1) 資本剰余金	671,283
(2) 利益剰余金	-8,715,576
負債・資本合計	39,275,657
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	625,960
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	徳島県
市町村・組合名	
病院名	海部病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	22,901 ㎡	指定病院の状況	救臨　感へ災　輪
診療科数	8	看護配置	７：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	102	65.4	64.8	59.2
療養	-	-	-	-
結核	4	3.6	8.9	17.0
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	110	60.8	60.4	55.5
平均在院日数（一般病床のみ）		15.7	15.0	14.5

設立団体の状況

人口 (人)		755,733
決算規模 (千円)		459,630,411
標準財政規模 (千円)		254,140,483
財政力指数		0.33399
経常収支比率 (%)		93.1
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.8
	将来負担比率 (%)	181.8

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	61.2
修正医業収支金額 (千円)	1,466,333

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	460,506	464,847
資本勘定繰入	38,377	38,377
計	498,883	503,224

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	45.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,137,991			
1 経常収益	2,137,991			
(1) 医業収益	1,632,634			
① 入院収益	851,622			
② 外来収益	564,957			
診療収入計	1,416,579			
③ その他医業収益	216,055			
(うち他会計負担金)	166,301			
(2) 医業外収益	505,357			
(うち国・都道府県補助金)	696			
(うち他会計補助・負担金)	298,546			
(うち長期前受金戻入)	191,204			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,513,026			
2 経常費用	2,513,026			
(1) 医業費用	2,396,029			
① 職員給与費	1,076,574	65.9	55.9	59.8
② 材料費	323,555	19.8	24.0	17.7
(うち薬品費)	206,041	12.6	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	102,852	6.3	11.1	8.0
③ 減価償却費	339,486	20.8	9.2	10.4
④ 経費	614,895	37.7	23.2	31.2
(うち委託料)	280,284	17.2	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	6,282			
⑥ 資産減耗費	35,237			
(2) 医業外費用	116,997			
(うち支払利息)	32,349	2.0	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-375,035			
損益 純損益	-375,035			
累積欠損金	4,158,089			
経常収支比率	85.1		98.0	96.3
医業収支比率	68.1		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	21.7		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	28.5		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	21.7		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	66.6		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	39,275,657
1 固定資産	33,568,445
(1) 有形固定資産	32,163,200
(2) 無形固定資産	7,194
(3) 投資その他の資産	1,398,051
2 流動資産	5,707,212
(1) 現金及び預金	2,075,736
(2) 未収金及び未収収益	3,384,884
(3) 貸倒引当金 (△)	9,384
(4) 貯蔵品	224,481
3 繰延資産	-
負債合計	39,901,617
1 固定負債	30,559,937
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	26,485,194
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,130,000
(5) その他の長期借入金	535,000
(6) 引当金	2,347,508
(7) リース債務	62,235
2 流動負債	4,010,548
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,155,331
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	170,000
(4) その他の長期借入金	90,000
(5) 引当金	626,450
(6) リース債務	21,450
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,833,272
(9) 前受金及び前受収益	4,413
3 繰延収益	5,331,132
(1) 長期前受金	13,462,359
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	8,131,227
資本合計	-625,960
1 資本金	7,418,333
2 剰余金	-8,044,293
(1) 資本剰余金	671,283
(2) 利益剰余金	-8,715,576
負債・資本合計	39,275,657
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	625,960
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	徳島県
市町村・組合名	徳島市
病院名	徳島市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	30,240 ㎡	指定病院の状況	救臨が　災地　輪
診療科数	37	看護配置	７：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	335	76.2	76.3	79.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	335	76.2	76.3	79.2
平均在院日数（一般病床のみ）		11.4	11.3	11.0

設立団体の状況

人口 (人)		258,554
決算規模 (千円)		96,923,060
標準財政規模 (千円)		54,197,718
財政力指数		0.82
経常収支比率 (%)		96.7
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.6
	将来負担比率 (%)	79.1

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	86.1
修正医業収支金額 (千円)	8,360,549

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,219,867	1,276,246
資本勘定繰入	483,802	483,802
計	1,703,669	1,760,048

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	112.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,250,768			
1 経常収益	10,247,448			
(1) 医業収益	8,803,900			
① 入院収益	6,048,195			
② 外来収益	2,062,900			
診療収入計	8,111,095			
③ その他医業収益	692,805			
(うち他会計負担金)	443,351			
(2) 医業外収益	1,443,548			
(うち国・都道府県補助金)	34,078			
(うち他会計補助・負担金)	832,895			
(うち長期前受金戻入)	491,840			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,320			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,327,754			
2 経常費用	10,283,251			
(1) 医業費用	9,713,459			
① 職員給与費	4,807,168	54.6	55.9	56.9
② 材料費	2,289,915	26.0	24.0	24.2
(うち薬品費)	1,131,667	12.9	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,157,283	13.1	11.1	11.7
③ 減価償却費	901,944	10.2	9.2	9.5
④ 経費	1,673,804	19.0	23.2	21.8
(うち委託料)	950,691	10.8	11.2	10.7
⑤ 研究研修費	36,566			
⑥ 資産減耗費	4,062			
(2) 医業外費用	569,792			
(うち支払利息)	273,821	3.1	1.7	1.8
(3) 特別損失	44,503			
損益 経常損益	-35,803			
損益 純損益	-76,986			
累積欠損金	9,894,483			
経常収支比率	99.7		98.0	96.3
医業収支比率	90.6		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	12.5		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	14.5		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	12.5		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	87.2		85.9	85.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	13,982,910
1 固定資産	11,819,319
(1) 有形固定資産	11,811,805
(2) 無形固定資産	7,514
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,163,591
(1) 現金及び預金	822,375
(2) 未収金及び未収収益	1,335,273
(3) 貸倒引当金 (△)	22,055
(4) 貯蔵品	27,783
3 繰延資産	-
負債合計	18,092,790
1 固定負債	15,482,951
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,028,833
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,433,758
(7) リース債務	20,360
2 流動負債	2,410,390
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	922,101
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	274,575
(6) リース債務	11,709
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,171,546
(9) 前受金及び前受収益	90
3 繰延収益	199,449
(1) 長期前受金	2,682,111
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	2,482,662
資本合計	-4,109,880
1 資本金	2,681,502
2 剰余金	-6,791,382
(1) 資本剰余金	3,103,101
(2) 利益剰余金	-9,894,483
負債・資本合計	13,982,910
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	4,109,880
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	3,910,431

備考

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	徳島県
市町村・組合名	三好市
病院名	三野病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ドＩ訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	5,537 ㎡	指定病院の状況	救　輪
診療科数	3	看護配置	１５：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	60	83.7	80.8	85.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	83.7	80.8	85.0
平均在院日数（一般病床のみ）		36.4	33.6	37.3

設立団体の状況

人口 (人)		26,836
決算規模 (千円)		23,819,502
標準財政規模 (千円)		14,424,725
財政力指数		0.22
経常収支比率 (%)		87.9
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.8
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	85.2
修正医業収支金額 (千円)	782,809

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	99,716	81,321
資本勘定繰入	41,282	47,160
計	140,998	128,481

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	5.2
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	950,201			
１ 経常収益	935,804			
（1）医業収益	790,006			
① 入院収益	508,410			
② 外来収益	225,786			
診療収入計	734,196			
③ その他医業収益	55,810			
（うち他会計負担金）	7,197			
（2）医業外収益	145,798			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	74,124			
（うち長期前受金戻入）	64,006			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	14,397			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	965,918			
２ 経常費用	964,493			
（1）医業費用	918,531			
① 職員給与費	493,263	62.4	55.9	69.4
② 材料費	139,152	17.6	24.0	17.1
（うち薬品費）	104,404	13.2	12.4	10.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	33,220	4.2	11.1	5.8
③ 減価償却費	102,907	13.0	9.2	11.6
④ 経費	181,320	23.0	23.2	31.2
（うち委託料）	93,145	11.8	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	1,539			
⑥ 資産減耗費	350			
（2）医業外費用	45,962			
（うち支払利息）	18,625	2.4	1.7	2.1
（3）特別損失	1,425			
損益 経常損益	-28,689			
損益 純損益	-15,717			
累積欠損金	41,369			
経常収支比率	97.0		98.0	98.0
医業収支比率	86.0		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	8.7		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	10.3		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	8.6		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	88.6		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,411,564
１ 固定資産	1,076,543
（1）有形固定資産	1,024,214
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	52,329
２ 流動資産	335,021
（1）現金及び預金	247,645
（2）未収金及び未収収益	81,686
（3）貸倒引当金（△）	3,923
（4）貯蔵品	9,613
３ 繰延資産	-
負債合計	1,360,917
１ 固定負債	972,834
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	970,815
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	-
（7）リース債務	2,019
２ 流動負債	123,968
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	47,618
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	30,950
（6）リース債務	1,009
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	44,387
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	264,115
（1）長期前受金	756,059
（2）長期前受金収益化累計額（△）	491,944
資本合計	50,647
１ 資本金	91,816
２ 剰余金	-41,169
（1）資本剰余金	-
（2）利益剰余金	-41,169
負債・資本合計	1,411,564
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	徳島県
市町村・組合名	勝浦町
病院名	国保勝浦病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	3,495 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	5	看護配置	１５：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	60	59.0	58.3	63.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	59.0	58.3	63.1
平均在院日数（一般病床のみ）		36.0	35.8	31.1

設立団体の状況

人口 (人)		5,301
決算規模 (千円)		3,360,056
標準財政規模 (千円)		2,257,068
財政力指数		0.25
経常収支比率 (%)		75.7
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	4.2
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	78.4
修正医業収支金額 (千円)	497,740

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	141,133	143,633
資本勘定繰入	10,210	12,264
計	151,343	155,897

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	654,878			
1 経常収益	654,878			
(1) 医業収益	497,740			
① 入院収益	283,093			
② 外来収益	184,343			
診療収入計	467,436			
③ その他医業収益	30,304			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	157,138			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	143,633			
(うち長期前受金戻入)	9,150			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	648,897			
2 経常費用	648,897			
(1) 医業費用	634,704			
① 職員給与費	437,664	87.9	55.9	69.4
② 材料費	62,781	12.6	24.0	17.1
(うち薬品費)	41,953	8.4	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	12,964	2.6	11.1	5.8
③ 減価償却費	23,222	4.7	9.2	11.6
④ 経費	108,191	21.7	23.2	31.2
(うち委託料)	36,307	7.3	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	434			
⑥ 資産減耗費	2,412			
(2) 医業外費用	14,193			
(うち支払利息)	1,890	0.4	1.7	2.1
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	5,981			
損益 純損益	5,981			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.9		98.0	98.0
医業収支比率	78.4		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	21.9		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	28.9		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	21.9		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	78.8		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,622,083
1 固定資産	499,180
(1) 有形固定資産	498,076
(2) 無形固定資産	1,104
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,122,903
(1) 現金及び預金	1,046,166
(2) 未収金及び未収収益	75,692
(3) 貸倒引当金 (△)	349
(4) 貯蔵品	1,394
3 繰延資産	-
負債合計	639,726
1 固定負債	463,174
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	57,944
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	405,230
(7) リース債務	-
2 流動負債	74,904
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,354
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	30,203
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	38,310
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	101,648
(1) 長期前受金	357,072
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	255,424
資本合計	982,357
1 資本金	829,029
2 剰余金	153,328
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	153,328
負債・資本合計	1,622,083
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	徳島県
市町村・組合名	那賀町
病院名	那賀町立上那賀病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	Ｉ　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	3,432 ㎡	指定病院の状況	へ
診療科数	7	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	40	61.4	72.7	81.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	61.4	72.7	81.0
平均在院日数（一般病床のみ）		15.0	17.3	19.5

設立団体の状況

人口 (人)		8,402
決算規模 (千円)		13,616,470
標準財政規模 (千円)		6,242,160
財政力指数		0.18
経常収支比率 (%)		89.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.9
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	69.2
修正医業収支金額 (千円)	416,581

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	94,581	108,591
資本勘定繰入	25,788	39,963
計	120,369	148,554

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	263.9
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	538,838			
1 経常収益	538,838			
(1) 医業収益	419,581			
① 入院収益	254,209			
② 外来収益	134,643			
診療収入計	388,852			
③ その他医業収益	30,729			
(うち他会計負担金)	3,000			
(2) 医業外収益	119,257			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	105,591			
(うち長期前受金戻入)	7,876			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	614,162			
2 経常費用	614,162			
(1) 医業費用	602,058			
① 職員給与費	405,304	96.6	55.9	79.3
② 材料費	67,068	16.0	24.0	16.1
(うち薬品費)	38,620	9.2	12.4	10.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,448	6.8	11.1	5.0
③ 減価償却費	49,046	11.7	9.2	13.7
④ 経費	79,850	19.0	23.2	42.9
(うち委託料)	49,313	11.8	11.2	16.0
⑤ 研究研修費	250			
⑥ 資産減耗費	540			
(2) 医業外費用	12,104			
(うち支払利息)	12,104	2.9	1.7	1.5
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-75,324			
損益 純損益	-75,324			
累積欠損金	1,107,177			
経常収支比率	87.7		98.0	95.6
医業収支比率	69.7		88.4	65.3
他会計繰入金対経常収益比率	20.2		12.4	33.4
他会計繰入金対医業収益比率	25.9		14.5	52.3
他会計繰入金対総収益比率	20.2		12.4	33.6
実質収益対経常費用比率	70.1		85.9	63.7

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	766,676
1 固定資産	392,879
(1) 有形固定資産	392,879
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	373,797
(1) 現金及び預金	186,796
(2) 未収金及び未収収益	163,392
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	15,614
3 繰延資産	-
負債合計	515,401
1 固定負債	347,564
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	347,564
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	101,608
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	41,193
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,938
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	37,477
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	66,229
(1) 長期前受金	185,968
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	119,739
資本合計	251,275
1 資本金	1,358,452
2 剰余金	-1,107,177
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,107,177
負債・資本合計	766,676
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	徳島県
市町村・組合名	美波町
病院名	国保美波病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	4,531 ㎡	指定病院の状況	救　輪
診療科数	4	看護配置	１３：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	50	55.2	56.9	49.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	55.2	56.9	49.0
平均在院日数（一般病床のみ）		19.6	22.1	24.5

設立団体の状況

人口 (人)		7,092
決算規模 (千円)		6,228,545
標準財政規模 (千円)		3,514,555
財政力指数		0.17
経常収支比率 (%)		91.1
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	4.7
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	61.4
修正医業収支金額 (千円)	491,501

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	123,816	237,658
資本勘定繰入	10,869	10,869
計	134,685	248,527

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	23.8
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	775,185			
1 経常収益	775,099			
(1) 医業収益	529,492			
① 入院収益	242,186			
② 外来収益	234,983			
診療収入計	477,169			
③ その他医業収益	52,323			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	245,607			
(うち国・都道府県補助金)	70			
(うち他会計補助・負担金)	199,667			
(うち長期前受金戻入)	30,689			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	86			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	823,257			
2 経常費用	823,257			
(1) 医業費用	801,054			
① 職員給与費	381,463	72.0	55.9	69.4
② 材料費	138,382	26.1	24.0	17.1
(うち薬品費)	116,391	22.0	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,356	3.1	11.1	5.8
③ 減価償却費	123,016	23.2	9.2	11.6
④ 経費	157,485	29.7	23.2	31.2
(うち委託料)	42,811	8.1	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	708			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	22,203			
(うち支払利息)	4,956	0.9	1.7	2.1
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-48,158			
損益 純損益	-48,072			
累積欠損金	126,161			
経常収支比率	94.2		98.0	98.0
医業収支比率	66.1		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	30.7		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	44.9		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	30.7		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	65.3		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	2,917,861
1 固定資産	2,487,234
(1) 有形固定資産	2,487,234
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	430,627
(1) 現金及び預金	292,566
(2) 未収金及び未収収益	138,347
(3) 貸倒引当金 (△)	353
(4) 貯蔵品	67
3 繰延資産	-
負債合計	2,118,033
1 固定負債	1,143,972
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,143,972
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	81,977
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	36,054
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	27,394
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,529
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	892,084
(1) 長期前受金	962,902
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	70,818
資本合計	799,828
1 資本金	916,315
2 剰余金	-116,487
(1) 資本剰余金	9,674
(2) 利益剰余金	-126,161
負債・資本合計	2,917,861
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	徳島県
市町村・組合名	海陽町
病院名	海南病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	3,366 ㎡	指定病院の状況	救　災　輪
診療科数	4	看護配置	１３：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	45	42.8	49.9	42.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	42.8	49.9	42.5
平均在院日数（一般病床のみ）		20.4	17.8	23.9

設立団体の状況

人口 (人)		9,283
決算規模 (千円)		8,315,377
標準財政規模 (千円)		4,886,197
財政力指数		0.19
経常収支比率 (%)		80.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	1.2
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	53.4
修正医業収支金額 (千円)	273,620

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	197,717	200,337
資本勘定繰入	27,705	39,663
計	225,422	240,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	170.9
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	486,642			
１ 経常収益	486,642			
（１）医業収益	273,620			
① 入院収益	175,269			
② 外来収益	80,675			
診療収入計	255,944			
③ その他医業収益	17,676			
（うち他会計負担金）	-			
（２）医業外収益	213,022			
（うち国・都道府県補助金）	4,088			
（うち他会計補助・負担金）	200,337			
（うち長期前受金戻入）	6,573			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	528,574			
２ 経常費用	526,894			
（１）医業費用	512,449			
① 職員給与費	290,176	106.1	55.9	79.3
② 材料費	29,801	10.9	24.0	16.1
（うち薬品費）	17,217	6.3	12.4	10.3
（うち薬品費以外の医薬材料費）	7,323	2.7	11.1	5.0
③ 減価償却費	49,292	18.0	9.2	13.7
④ 経費	139,587	51.0	23.2	42.9
（うち委託料）	46,025	16.8	11.2	16.0
⑤ 研究研修費	786			
⑥ 資産減耗費	2,807			
（２）医業外費用	14,445			
（うち支払利息）	6,242	2.3	1.7	1.5
（３）特別損失	1,680			
損益 経常損益	-40,252			
損益 純損益	-41,932			
累積欠損金	467,528			
経常収支比率	92.4		98.0	95.6
医業収支比率	53.4		88.4	65.3
他会計繰入金対経常収益比率	41.2		12.4	33.4
他会計繰入金対医業収益比率	73.2		14.5	52.3
他会計繰入金対総収益比率	41.2		12.4	33.6
実質収益対経常費用比率	54.3		85.9	63.7

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,023,954
１ 固定資産	944,810
（１）有形固定資産	939,944
（２）無形固定資産	4,866
（３）投資その他の資産	-
２ 流動資産	79,144
（１）現金及び預金	29,927
（２）未収金及び未収収益	44,937
（３）貸倒引当金（△）	-
（４）貯蔵品	4,280
３ 繰延資産	-
負債合計	564,790
１ 固定負債	401,041
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	376,230
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	-
（７）リース債務	24,811
２ 流動負債	65,289
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,633
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	18,000
（６）リース債務	11,028
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	6,628
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	98,460
（１）長期前受金	234,210
（２）長期前受金収益化累計額（△）	135,750
資本合計	459,164
１ 資本金	894,983
２ 剰余金	-435,819
（１）資本剰余金	31,709
（２）利益剰余金	-467,528
負債・資本合計	1,023,954
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	徳島県
市町村・組合名	つるぎ町
病院名	つるぎ町立半田病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	12,311 ㎡	指定病院の状況	救臨　へ災　輪
診療科数	10	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	120	81.6	83.9	77.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	81.6	83.9	77.4
平均在院日数（一般病床のみ）		18.1	18.2	16.1

設立団体の状況

人口 (人)		8,927
決算規模 (千円)		8,258,928
標準財政規模 (千円)		5,146,200
財政力指数		0.19
経常収支比率 (%)		99.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	8.6
	将来負担比率 (%)	24.6

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	95.8
修正医業収支金額 (千円)	2,250,553

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	205,681	142,555
資本勘定繰入	128,823	37,445
計	334,504	180,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,470,955			
１ 経常収益	2,469,384			
（1）医業収益	2,332,763			
① 入院収益	1,280,345			
② 外来収益	891,932			
診療収入計	2,172,277			
③ その他医業収益	160,486			
（うち他会計負担金）	82,210			
（2）医業外収益	136,621			
（うち国・都道府県補助金）	7,024			
（うち他会計補助・負担金）	60,345			
（うち長期前受金戻入）	38,737			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	1,571			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	2,457,693			
２ 経常費用	2,457,687			
（1）医業費用	2,348,789			
① 職員給与費	1,341,764	57.5	55.9	59.8
② 材料費	356,703	15.3	24.0	17.7
（うち薬品費）	200,417	8.6	12.4	9.1
（うち薬品費以外の医薬材料費）	139,453	6.0	11.1	8.0
③ 減価償却費	168,595	7.2	9.2	10.4
④ 経費	474,672	20.3	23.2	31.2
（うち委託料）	163,026	7.0	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	6,851			
⑥ 資産減耗費	204			
（2）医業外費用	108,898			
（うち支払利息）	41,013	1.8	1.7	1.8
（3）特別損失	6			
損益 経常損益	11,697			
損益 純損益	13,262			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.5		98.0	96.3
医業収支比率	99.3		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	5.8		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	6.1		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	5.8		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	94.7		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	4,880,602
１ 固定資産	4,203,434
（1）有形固定資産	4,131,617
（2）無形固定資産	122
（3）投資その他の資産	71,695
２ 流動資産	677,168
（1）現金及び預金	183,383
（2）未収金及び未収収益	460,102
（3）貸倒引当金（△）	1,123
（4）貯蔵品	34,806
３ 繰延資産	-
負債合計	2,785,430
１ 固定負債	1,799,369
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,738,609
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	-
（7）リース債務	60,760
２ 流動負債	416,474
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	173,696
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	87,249
（6）リース債務	25,524
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	130,005
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	569,587
（1）長期前受金	1,932,266
（2）長期前受金収益化累計額（△）	1,362,679
資本合計	2,095,172
１ 資本金	1,404,694
２ 剰余金	690,478
（1）資本剰余金	1,871
（2）利益剰余金	688,607
負債・資本合計	4,880,602
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。